弘前市における農業の位置づけ

○　令和5年の**弘前市の農業産出額は532.8億円**（対前年比＋28.4億円）で**全国７位、10年連続東北１位。**
また、**果実部門**でみると、469.8億円（対前年比＋21.1億円）で**10年連続突出して１位。**

○　第２次・３次産業においても、**りんご関連産業が多く存在**し、**第１次産業が地域の基幹産業**となっていることから、第１次産業の維持・発展が**地域振興に欠かせない。**

○　あおもり創生パートナーズ㈱による外貨獲得／地場マネー移動の度合いでの青森県の産業分類では、**りんごを中心とした農業**は、**青森県唯一の「外貨を稼ぎ、域内マネーを還流」する産業**と位置づけ。

○農業産出額上位10市町　（単位：億円）

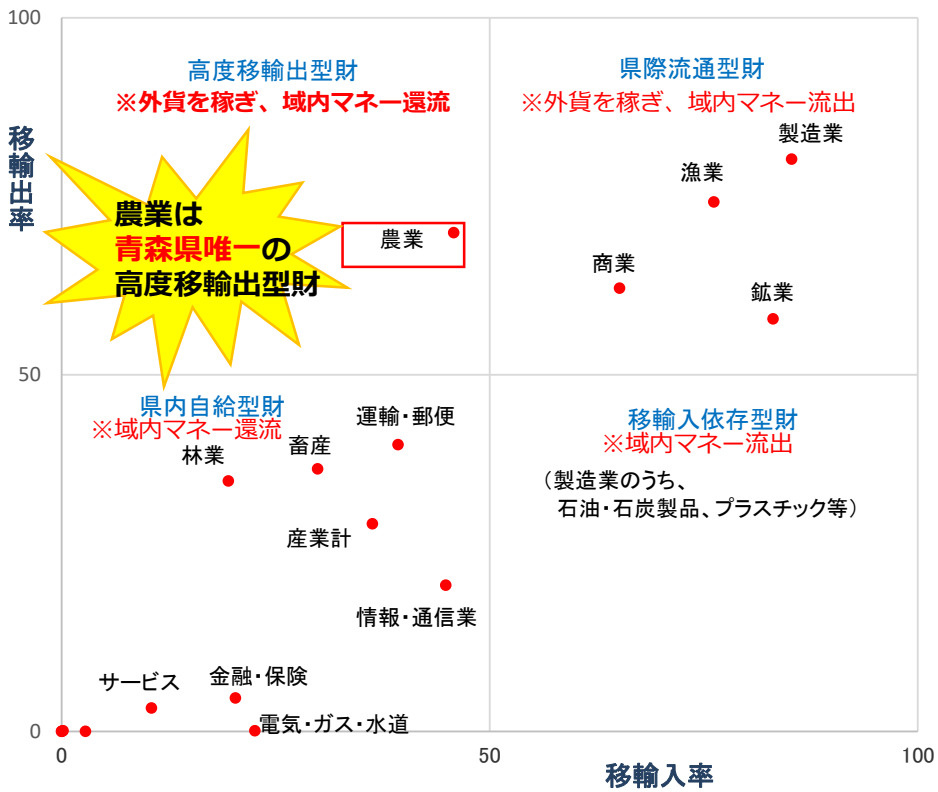
順位	市町村	農業産出額	品目
1（1）	都城市（宮崎県）	981.0	豚、肉用牛
2（2）	田原市（愛知県）	891.1	花き、野菜
3（3）	鉾田市（茨城県）	676.2	野菜、いも類
4（4）	別海町（北海道）	639.3	乳用牛、肉用牛
5（8）	旭市（千葉県）	559.4	豚、野菜
6（6）	浜松市（静岡県）	545.6	果実、野菜
7（7）	**弘前市**	532.8	**果実、米**
8（5）	新潟市（新潟県）	517.6	米、野菜
9（11）	熊本市（熊本県）	505.7	野菜、果実
10（12）	那須塩原市（栃木県）	504.0	乳用牛、鶏卵

○果実部門における産出額上位３市　（単位：億円）

順位	市町村	農業産出額	主要果実
1（1）	**弘前市（青森県）**	**469.8**	**りんご**
2（2）	笛吹市（山梨県）	270.9	もも、ぶどう
3（3）	甲州市（山梨県）	190.5	ぶどう、もも

（注）順位の（）内の数値は前年順位
資料：農林水産省「令和5年市町村別農業産出額（推計）」

○移輸出・移輸入から見た産業分類（青森県）



（注）高度移輸出型財とは、移輸出率50%以上、移輸入50%以下で、県内需要を満たしながら移輸出のウェイトが高く、県外や海外の域外マネーを青森県にもたらす産業。青森県農業産出額のうち、最も多いのがりんごで全体の約１／４。
資料：第２回＜あおぎん＞アグリビジネス情報交換会（令和２年10月８日開催）
あおもり創生パートナーズ㈱報告

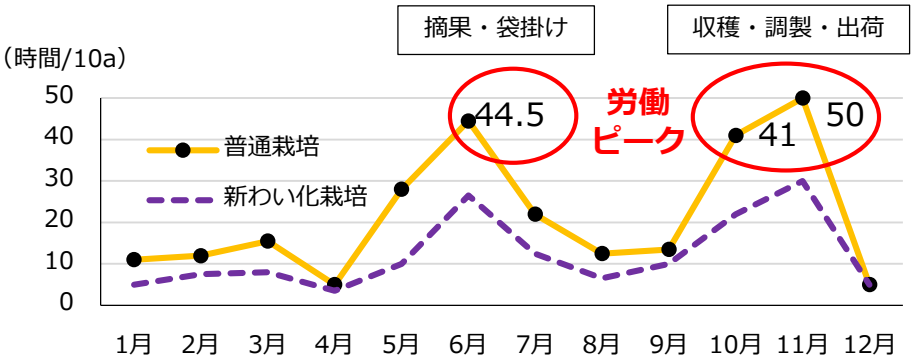
補助労働力の必要性とこれまでの主な取組

○　りんご農作業では、**労働ピークが摘果や収穫などの短期間に集中**していることから、省力化や労働の分散を図りつつ、補助労働力による**臨時的な雇用を確保することが不可欠**。

○　一方、弘前市では**既に補助労働力不足が深刻な問題**となっており、**今後10年間で更に悪化**することが懸念。

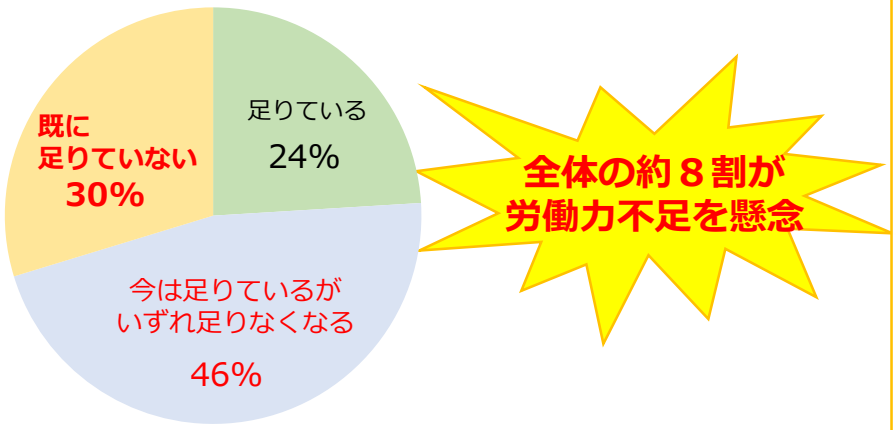
現状

○ふじ（普通・新わい化（高密植低樹高））の月別労働時間



資料：長野県「農業経営指標」

○今後10年間の補助労働力の確保状況（弘前市）



資料：弘前市調べ「令和元年今後の営農に関するアンケート」（回答者数：2,393件）

これまでの主な取組

1．初心者向けりんご研修会

・　りんご作業に興味のある者を対象として、市りんご公園の園地において①摘果、②袋掛け、③着色管理・収穫といった生産工程毎に基礎的な技術研修会（定員25名で各作業２回ずつ）を実施。

2．無料職業紹介事業

・　管内３農協及び（公社）あおもり農業支援センターに加え、令和２年度からは市農林部にも「無料職業紹介所」を設置し、補助労働力の掘り起こしと生産現場への労働力供給を強化。

3．農福連携の取組

①障がい者向けりんご研修会

・　障がい福祉事業所の利用者を対象として、市りんご公園の園地において袋掛けの技術研修会を実施。

・　令和３年度からは、事業所でも反復練習が可能なよう、袋掛け練習キットを製作するなど研修を充実。

②農福連携モデル事業

・　障がい者の就労可能性を明らかにするため、剪定枝の片づけ～選果に至るまでの各生産工程の適用性を検証。

4．休職者等農業マッチング緊急支援事業

・　新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症の感染拡大に伴う休職者と農業現場をﾏｯﾁﾝｸﾞ

課題と新たな補助労働力確保対策

課題

○　初心者向けりんご研修会などの施策を講じることで、**一定程度の効果**が出てきているものの、
補助労働力不足の解決には至っていない。

○　「空いた時間だけ」「毎日は無理でも週１日なら」「休日に副業で」など、
多様で柔軟な働き方へのニーズが高まる中、このような人材を積極的に導入できる仕組みが必要。

新たな対応策

①　市役所や民間企業・団体等に勤務する職員の兼業（副業）の推進

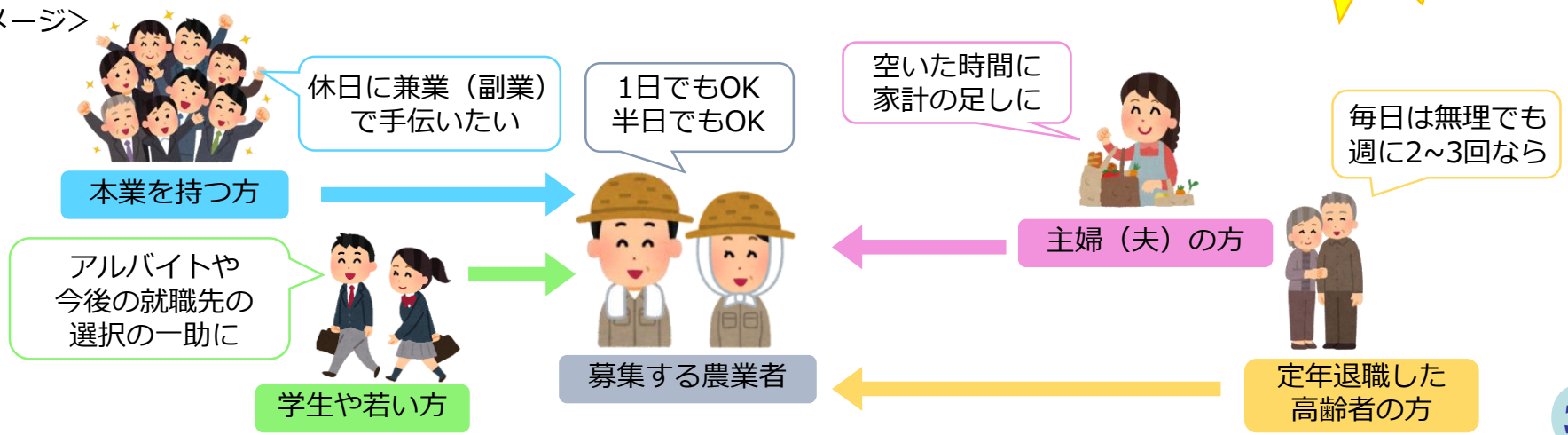
⇒　市役所職員（利害関係者を除く）によるりんご生産アルバイトでの兼業を推進（**りんご生産で初**）。
今後は市役所での取組を契機として、市内の民間企業・団体等にも波及させる予定。

令和3年10月から始動！！

②　気軽に働ける短期雇用派遣システムの構築

⇒　管内農協と連携し、１日バイトアプリ「daywork」を運用開始（青森県内初）。

<取組イメージ>



新たな補助労働力確保対策の概要

新規対策①

市役所職員によるりんご生産アルバイトの兼業の推進

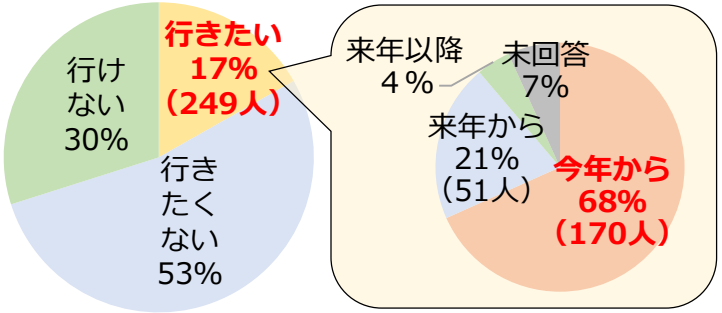
概　要

・対象者　：全職員（利害関係がある場合を除く）
・兼業先　：市内のりんご農家又は農業法人
・許可要件：職務遂行上問題ないと認められる場合
（主なもの）従事先での勤務時間が以下をすべて満たす場合
①勤務日*３時間以下、②週８時間以下、③１ヶ月30時間以下
・許可期間：１年以内（許可後１年毎に更新）

*本来で勤務した（する）日の兼業先での勤務時間

※　国家公務員における兼業に係る規定に準じて運用。

＜職員への意向調査結果＞



資料：弘前市調べ「りんご農作業アルバイトのニーズ調査」（回答者数：1,479名）

兼業開始までの流れ　＜無料職業紹介所を活用する場合＞

①職員専用電子掲示板の求人情報を基に希望アルバイト先候補を選定
②希望アルバイト先候補との利害関係の有無を確認
③雇用主との面接を実施（仕事内容や雇用条件等を確認）
④内定後、「兼業許可申請書」を作成・提出
⑤人事部局が審査し、任命権者が「兼業許可・不許可通知書」を発行

市内の民間企業・団体等にも波及されることに期待！

新規対策②

気軽に働ける短期雇用派遣システムの構築
～１日バイトアプリ「daywork」の運用～

概　要

・活用可能な者
①求人者：すべての農業者
②求職者：すべての職を求める者
・対象作業：すべての農作物の農作業
・利用料金：無料（令和5年度まで）

1日バイトアプリ デイワーク daywork
Kamakura Industries株式会社が開発し、平成30年運用開始

求人までの流れ

①所属する農協に活用希望を申告
②個人ごとにアカウントを作成し、
登録したアカウント情報（生産者番号（組合員番号等）、あいことば等）を入力してアプリにログイン
③募集したい日をカレンダーから選択し、募集内容（仕事内容、賃金、就労時間等）を登録（２回目以降は複製可能）
④求職者からの応募があれば、スマホに通知が届き、求職者情報や作業履歴等を基に採用の可否を決定
⑤マッチング後、必要に応じてチャットでやり取り

求職までの流れ

①アカウントを作成し、アプリにログイン
②働きたい日をカレンダーから選択し、
求人情報を基に希望するアルバイト先候補を決定
③採用後、必要に応じてチャットでやり取り

アプリトップ画面

新たな層の確保と職業選択の幅が広がることに期待！

地方公務員が営利企業に従事する際のハードル①

営利企業への従事等の制限

地方公務員の営利企業への従事は、法律によって制限されているが、**任命権者（＝市町村長）による許可の基準を定め、許可を得ることで、兼業が可能**。

【地方公務員法第38条抜粋】
（営利企業への従事等の制限）
第三十八条　職員は、任命権者の許可を受けなければ、商業、工業又は金融業その他営利を目的とする私企業（以下この項及び次条第一項において「営利企業」という。）を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規則（人事委員会を置かない地方公共団体においては、地方公共団体の規則）で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。ただし、非常勤職員（短時間勤務の職を占める職員及び第二十二条の二第一項第二号に掲げる職員を除く。）については、この限りでない。
２　人事委員会は、人事委員会規則により前項の場合における任命権者の許可の基準を定めることができる。

弘前市の許可基準

①弘前市職員の兼業許可等に関する事務取扱要領（平成20年4月3日施行）
市職員が兼業を行う際の許可基準や審査内容等について定めたもの。

ここがポイント！！

審査基準のひとつ「兼業することが、地方公務員としての信用を傷つけ、または、市職員全体の不名誉となるおそれがあると認めるとき。」に**りんご生産アルバイトは該当しないことから兼業が可能**と判断。

《該当しないと判断した主な理由》
○第2次・3次産業においてもりんご関連産業が多く存在し、りんご産業が地域の基幹産業となっているため
○職員がりんご生産に関わることで、知識や経験を得るという副次的効果が期待できるため

②弘前市職員のりんご農家等への従事等の制限に係る許可に関する要領（令和3年9月2日施行）
本業への影響が生じないよう、りんご生産アルバイトの勤務時間等を定めたもの。

ここがポイント！！

りんご生産アルバイトは身体的疲労が伴うことから、審査基準のひとつ「兼業による心身の著しい疲労のため、職務の遂行に支障が生ずると認められるとき。」に該当しないよう、新たに要領を策定。

りんごアルバイトの勤務時間は、国家公務員の規定に準じ、原則【①本業の勤務日３時間以下、②週８時間以下、③１ヶ月30時間以下】と設定。

地方公務員が営利企業に従事する際のハードル②

利害関係者の元での兼業の制限

職務の公正な執行の確保や公務の信用の確保の観点から、**兼業する職員と兼業先の農家に利害関係がある場合、または、発生するおそれがある場合は、兼業不可**。

【弘前市職以外の職務又は業務に従事する職員に関する条例抜粋】
（営利企業従事等の許可の基準）
第２条　職員が営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他規則で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利を目的とする私企業を営むことについては、任命権者は、その職員の占めている職と当該営利企業との間に特別な利害関係又はその発生のおそれがなく、かつ、営利企業に従事しても職務の遂行に支障がないと認める場合、その他の法の精神に反しないと認める場合のほかは、これを許可してはならない。

《利害関係とは》
　免許、認可、許可、検査、監査、税の賦課・徴収、補助金の交付など

《弘前市の考え方》
農家を対象とした事業全般の他にも、保育園の入所手続きや奨学金の交付、障がい者手帳の交付など、
希望する農家との間に業務上のやり取りが発生している、発生する予定が既にある場合は、利害関係に該当。

※住民票の交付、パスポート申請の受付など、職員の裁量の余地が少ない業務は利害関係に該当しない。

弘前市における対応策

○職務の公正な執行の確保・公務の信用の確保のため、農家を対象とした業務が多い**農林部・農業委員会の職員は、兼業不可**。
○利害関係の有無を確認するためのフロー図や分類表を作成。
○兼業を希望している職員には、利害関係に関する基本的な考え方を説明するなど、**利害関係の有無の確認をサポート**。

ここがポイント！！

兼業を希望する職員が利害関係の有無を判断しなければならないが、利害関係は多岐にわたるため、判断が難しい場合もある。
利害関係の判断が兼業のハードルにならないよう、りんご課職員もサポート。

市職員りんご生産アルバイト実績

りんご生産アルバイト実績（R3～R6）

兼業従事者数

職員49名（男性37名、女性12名）
（年齢構成：20代 14名、30代 11名、40代 15名、50代 9名）

派遣農家数

33件
- 1名派遣：32件　2名派遣：4件
- 3名派遣：　2件　4名派遣：1件

20代～50代の、幅広い年齢層が従事！
グループでの兼業申込も複数件有り。

主な作業内容

○葉取り　○つる回し　○袋はぎ
○反射シート敷き・撤去　○収穫　○運搬　○選果

りんご生産アルバイト従事者対象アンケート調査（R3年度実施）

○今後もりんご生産アルバイトに従事したいですか。

選択肢	回答者数
従事したい	**14**
できれば従事したい	**15**
できれば従事したくない	4
従事しない	1

「できれば従事したい」と、「できれば従事したくない」の、２つにチェックした方が2名。

継続したいと思う反面、心身の疲労や、家族と過ごす時間が減ってしまうことなどに対し、葛藤がある職員もいる。

○《今後もりんご生産アルバイトに従事したい/できれば従事したいと回答した方》
その理由を教えてください。（複数回答可）

選択肢	回答者数
りんご農家の力になりたい	**21**
労働の対価を得ながら地域貢献をしたい	13
今回の兼業先との関係を大切にしたい	12
りんご生産現場を知りたい	12
農作業が楽しい	11
運動不足解消のため	10
充実した休日を過ごしたい	10
他の作業（摘花・摘果等）もやってみたい	7
日々の業務に活かしたい	7
その他	4

りんご生産アルバイト従事者を対象としたアンケート調査

- 「アルバイトに従事した中で良かったこと」として、**約8割が、「りんご農家の力になることができた」と回答**。
- 本業ではなかなか経験することのできない**りんごの生産現場を知ることができて良かった**という声も多数。

《アンケート実施概要》 実施期間：令和3年12月22日～令和4年1月7日　対象者：りんご生産アルバイトに従事した全職員
回答者数：32名（回答率100%）

○りんご生産アルバイトに従事した中で良かったことが　ありましたら、教えてください。（複数回答可）

選択肢	回答者数
りんご農家の力になることができた	**26**
りんご生産現場を知ることができた	23
りんご農家と関わることができた	20
楽しんで農業に従事できた	19
運動不足の解消となった	15
労働の対価を得ながら地域貢献ができた	15
充実した休日を過ごすことができた	11
日々の業務に活かすことができた/できそう	8
その他	3

「日々の業務に活かすことができた/できそう」の主な意見

《福祉部》
・生活困窮等の相談の際、農作業の紹介をする場合には、体験をもとに寄り添った相談ができると思う。

《健康こども部職員》
・農家の方の食習慣を垣間見ることができた。　運動量が多いことが分かった。
⇒農家の方の健康結果説明時にイメージして介入しやすくなった。

《観光部職員》
・様々な場面で弘前市を広くPRする際に、直接、農家さんからりんごに関する話を聞くことができたことから、業務に幅が広がった。

・自分が実際に経験したりんご作業の知識を、観光客への説明やプロモーションの内容にいかすことができると感じている。

・地場産業などを観光コンテンツとして体験する”コト観光”がトレンドであるため、りんご農家体験のコンテンツ開発に役立ちそうだと感じた。

「その他」の主な意見

・一緒に作業した方から市に対する生の声を聞くことができた。
・大雨など厳しい環境でもやりきり、精神面を鍛える訓練になった。
・観光コンテンツに繋がるような発見があった。（机上では企画は立てられない。）

補助労働力確保対策の横展開に向けた取組

新規対策③

市役所職員によるりんご生産アルバイトでの「一日農業バイトアプリdayworkの法人版機能」の活用とりんご農作業の副業、企業援農の推進

概　要

令和３年度から実施している市職員のりんご生産アルバイトの兼業において、令和５年度から、１日農業バイトアプリdayworkの法人版機能（以下「法人版デイワーク」）を活用した副業を推進しているJR東日本と連携し、同アプリの活用を開始。また、JR東日本社員が同アプリを活用し、りんご農作業の援農を実施。

導入メリット

- 管理者画面で、副業先や副業時間数を把握でき、労務管理の効率化が図られ、副業実績を簡単に集計可能。
- アルバイトに従事する職員は事前の雇用主との面談と契約書の作成が不要となり、事務負担が軽減。

兼業開始までの流れ

<法人版デイワークを活用する場合>

①法人コード（法人の管理者が申請し取得）を入力のうえ、法人の社員（市職員） としてのアカウントを作成し、アプリにログイン
②兼業に関する注意事項を確認し、兼業許可チェックリストを作成
③デイワークアプリで希望アルバイト先との利害関係の有無を確認し、約２週間先のアルバイトを申し込む
④「兼業許可申請書」と「兼業許可チェックリスト」を提出
⑤人事部局が審査し、任命権者が「兼業許可・不許可通知書」を発行

「第１回JR東日本地域共創アワード」最優秀賞を受賞

JR東日本グループと連携し、持続可能な地域づくりに取り組む個人・団体を表彰する「第１回JR東日本地域共創アワード」において、JR東日本秋田支社弘前統括センターと弘前市が連携して行った『**持続可能なりんご産業発展に向けた取組**』が最優秀賞を受賞。

取組の一つとして、１日農業バイトアプリdaywork（デイワーク）を活用したりんご農作業の副業、企業援農が高く評価された。

今後の展望

市内の民間企業・団体等へ法人版デイワークを活用した農作業の副業や企業援農の参画を促し、持続可能な取組として横展開を推進！